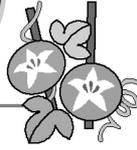


進路だより



令和7年7月18日（金）
都立青山特別支援学校長
中澤 将人
<第3号> 進路指導部
文責 岩木 亨介

7月に入り、暑い日が続いています。熱中症のリスクが高まる季節ですので、こまめに水分を補給し、体調管理に気を付けて過ごしましょう。

6月と7月のキャリア目標は「身だしなみ」です。身だしなみを整えることは、見た目の美しさだけでなく、衛生面の向上にもつながります。ぜひご家庭でも実践してみてください。

6・7月のキャリア目標

- ① 顔を洗い、髪、爪を整えよう。
- ② ハンカチを持とう、使おう。
- ③ 正しく靴をはこう。
- ④ シャツの裾を（出す・入れる）整えよう。
- ⑤ ボタンを留めよう。
- ⑥ 鏡を見て、自分で身だしなみを意識しよう。
- ⑦ 季節、年齢、場面に合わせて身だしなみを整えよう。

身だしなみは、他者を意識した社会的なマナーです。身だしなみを整えることは、周囲への配慮を示すものでもあります。状況や場所に合った身だしなみを意識することは、キャリア教育の重要な一環です。自分にできることから始めて、繰り返し実践していきましょう。

子どもの身だしなみを整える際には、まず清潔でいる習慣を身につけることが大切です。朝の洗顔や歯磨き、お風呂でのシャンプーや体洗いなど、自分でできることを増やしていくよう、夏休み中に家庭でも少しずつ取り組んでみてください。

また、身なりを整えることでは、シャツのボタンをきちんと留める、肌着の裾をズボンやスカートの中に入れる、靴を正しく履くことも重要です。自分で整えることが難しい場合は、周りの人に伝えたり、手伝ってもらったりしながら整えていくことも大切です。



長髪はまとめることにより、見た目のさわやかさだけでなく、少し涼しさを感じる、食事の際、髪の毛が口に入りにくくなるなど、多くの利点があります。

今年度より一人通学の担当が進路指導部になりました。

一人通学は将来の就労や卒業後の生活全般に必要な力です。キャリア教育の一環として担任と相談しながら積極的にすすめていきましょう。

一人通学とは・・・

一人通学には以下のような意義があります（東京都教育委員会の通知による）

1. 交通ルールの習得
 - 信号の見方や公共交通機関の利用方法を学ぶことができます。（安全な生活のために）
2. 進路選択の幅の拡大
 - 学校卒業後の通勤に必要な力を身に付けることで、進路の選択肢が広がります。（将来の自分のために）
3. 社会生活の幅の拡大
 - 公共交通機関の利用を通じて、社会生活の幅が広がります。（自分らしい毎日のために）

青山特別支援学校の一人通学指導の進め方

一人通学指導は、中学部や高等部になってからではなく、小学部低学年から段階的に進めています。また、すぐには一人通学が難しい児童生徒に対しても、発達段階に応じた指導を行うことが大切です。本校では段階を踏まえて校内でできることを始めとした様々な取り組みを一人通学として指導しています。

指導例

●校内指導

- ①短い距離を一人で移動する（ごみ捨てなど）。
- ②一人で教室移動する。
- ③スクールバスを降りて昇降口に移動する。
- ④昇降口から教室に移動する。
- ⑤教室から昇降口へ移動する。

●校外指導

- ①自宅からスクールバス停まで一人で歩く。
- ②電車やバスを利用して一人で通学する。

このような段階的な指導を通して、児童・生徒が自立して通学できる力を身に付けることを目指しています。保護者の皆様も、ぜひ御協力ください。

校外での一人通学練習を始めたい場合には担任に連絡し、担任と相談し計画書を作成し取り組んでいきましょう。

最初は下校の練習から始めましょう。（行動がより把握できる下校時からスタートしています。）

一人通学に必要な力は、様々ありますが、

- ① どんなときでも目的地向かうことができる。（雨天・交通トラブルにも対応できる）
- ② 困った時に助けを求めることができる。（言葉では伝えられない場合は ICT 機器やカード等を利用して）

この2点はとても重要な力です。

例えば・・・

- ① 雨が降っていたり、寝坊をして登校に気持ちが乗らない時でも普段通りに登校できる。
 - ② 電車が遅延した時などに、学校や保護者にスマホや見守りケータイなどを使って伝えることができる。
- このような力を身に付け、一人通学に取り組んでいきましょう。